

# 平成26年度 自己評価書

学校名	和歌山市立名草小学校
校長氏名	亀井 晴史
作成日	平成 27年 2月 2日

## 1 教育目標

心豊かで たくましく生きる子ども

## 2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標【P】	1 保護者・地域との連携 2 保護者や地域のニーズをふまえた教育活動 3 外部講師等による学びと育ちの広がり	1 教育環境の整備 2 健やかな体の育成 3 読書活動の推進	1 表現力・思考力、コミュニケーション能力を育てる授業の充実 2 基礎・基本的な内容の確実な定着 3 子どもの実態に対応した教育のための研修の充実

取組の状況【D】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員の皆さんと保護者の方との協力で『見守り隊』の立ち上げを計画した。</li> <li>・地域の方と育友会が避難路等に関わる機会を設定する。</li> <li>・ボランティアを積極的に活用するとともに、特別支援教育の専門家等と連携する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「心の教室」の設置等、学校生活環境の充実を図る。</li> <li>・体力テストのデータ分析を行い、心と身体の健康に生かす。</li> <li>・学年の図書コーナーの充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現教委員会を中心に研究授業等による授業改善を図るとともに、学校全体で学力向上に向けた取組みを行う。</li> <li>・学びタイムの内容と効果を検証する</li> <li>・外部講師による研修と先進研究校への職派遣を行う。</li> </ul>
(評価結果【C】)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員さんの大きな協力を得られたが、保護者の皆さんの参加体制を今後整備する必要がある。</li> <li>・地域にとって避難路が大切な存在であることが共有できた。定期的な整備計画を立てていきたい。</li> <li>・特別支援教育で和歌山大学と連携、ボランティアも複数導入した。今後も継続していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「心の教室」の活用、防護ネットの設置など整備を図った。設備全体的な老朽化に対応する必要がある。</li> <li>・体力テストのデータを返却した。今後、具体的に家庭と連携した心と身体の健康づくりを行う。</li> <li>・外部からの寄付による図書の充実もできた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての学年で研究授業を実施し、表現力向上に向けた研究を行った。</li> <li>・全国学テ等について、精度の高い分析を行い、改善の方向を示した。</li> <li>・学力向上委員会を設置し、学びタイムを再編した。</li> <li>・算数教育・特別支援教育について外部講師を招聘、また職員を県外調査に派遣した。</li> </ul>
改善方法【A】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『見守り隊』の活動と通学路の安全確保（時間規制等）を合わせた計画を整理する。</li> <li>・地域の方との定期的な交流場面の計画とともに、育友会にも避難路担当部署を設置する。</li> <li>・継続的な外部連携とともに、インクルーシブ教育等についてのモデル事業の実施等を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数の多い学級等を考慮した活動室の活用計画を立てる。</li> <li>・1学期の運動会開催、国体等に対応し、家庭とも連携した心と身体を育てる年間計画を作成する。</li> <li>・学びタイムで読書時間の充実と『うちどく』の推進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材研究を充実を図るとともに、家庭学習や『家庭学習のすすめ』等について方向性をまとめる。</li> <li>・学習意欲や成果の評価方法についてまとめる。</li> <li>・教科指導・特別支援教育等について外部講師による継続的な研修を実施する。</li> </ul>

## 3 その他の課題

- ・登下校の通学路が狭く、交通量が多い。児童の安全確保が難しく、今後地域の方とも連携して時間規制等の交通規制を含めた対策が必要である。
- ・施設の老朽化が目立ち、保全・整備が難しい箇所がある。
- ・いのしし（いのぶた）による花壇等への被害が目立った。児童の安全確保と学校施設の保全が課題である。